

# 職域運営方式(第107回以降)

2022/7/3

# 目次

---

1. 変更点概要
2. 第107回以降の運営方式
3. D級・E級出場チーム決定方法
4. 昇級・降級の決め方/D級出場の優先順位
5. 第107回大会における移行措置 **※今大会の方式を記載しているため必ずお読みください**

# 1. 変更点概要

---

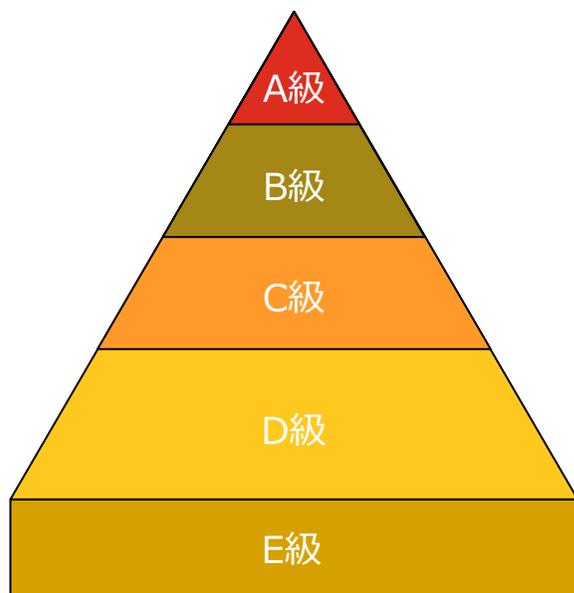
第107回以降の主な変更点はD級のリーグ戦化とE級の新設である。  
これに合わせていくつか追加の変更点がある。

## ■変更点

- D級を従来のトーナメント方式からA～C級と同様の8チームリーグ戦へ変更
  - ブロック数は従来の8ブロックとするため、D級のチーム数は64チーム(8チーム×8ブロック)となる
  - 一部の出場チームは申込時の各チームのメンバー構成によって決定する
- E級の新設
  - D級の出場枠から漏れたチームを受け入れる箱としてE級を新設する
  - 個人戦で開催し、成績上位チームは次回D級出場の優先権を獲得する
- 昇級及び降級の流動性向上
  - 各ブロックの優勝チームだけでなく、準優勝チームの中からも総合成績によって昇級チームを出す
  - 昇級チーム数増加に伴い降級チーム数も増加する
- 各ブロック1チーム制限の撤廃
  - 各ブロック内で同一団体が複数チーム存在する状態を容認する

## 2. 第107回以降の運営方式

第107回以降はD級の方式変更やE級の新設に加えて、各級の昇級・降級数を増やしてチーム編成を大幅に流動的にする。



級	チーム数	対戦方式	昇級チーム数	降級チーム数	残留チーム数	備考
A	8 (1ブロック)	リーグ戦	—	3	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終成績で下位3チームが降級</li> <li>複数チーム存在することを容認</li> </ul>
B	16 (2ブロック)	リーグ戦	3	6	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>優勝、及び準優勝の内好成績の1チームが昇級</li> <li>各ブロック下位3チームずつが降級</li> <li>同ブロック内に複数チーム存在することを容認</li> </ul>
C	32 (4ブロック)	リーグ戦	6	12	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>優勝、及び準優勝の内好成績の2チームが昇級</li> <li>各ブロック下位3チームずつが降級</li> <li>同ブロック内に複数チーム存在することを容認</li> </ul>
D	64 (8ブロック)	リーグ戦	12	— (詳細は後述)	12 ※確定数 (詳細は後述)	<ul style="list-style-type: none"> <li>優勝、及び準優勝の内好成績の4チームが昇級</li> <li>残留となった準優勝4チーム+3位は次回D級確約</li> <li>成績下位であっても次回E級確定ではない</li> <li>同ブロック内に複数チーム存在することを容認</li> </ul>
E	無制限 ※会場容量次第	個人戦 (4試合)	16	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績上位16チームは次回D級確約</li> <li>上位16チーム以外のデメリットは無し</li> </ul>

### ■補足

- D級出場チームにも団体戦で4試合取れることを確約
- E級新設により出場を断るチーム数を可能な限り減らす方向性
- 同ブロック複数チームを認めることで、流動性の向上によるメリットを既存チームが享受できない懸念を緩和

### 3. D級・E級出場チーム決定方法

D級・E級については、一括で申し込みを受け付け、D級64チーム枠に収まらないチームをE級に振り分ける。

	E級チーム数無制限(個人戦)	D級64チーム(8チーム×8ブロック)	参考:C級32チーム
出場 チーム	申込状況次第で決まるD級24チームの枠に入れなかったチーム ※前回大会結果は考慮しない	前回C級からの降級(12チーム)	前回B級からの降級(6チーム)
		前回D級で残留(12チーム)	前回C級で残留(14チーム)
		申込状況次第で決定(24チーム)	
		前回E級からの昇級(16チーム)	前回D級からの昇級(12チーム)

大会後

次回 出場級	次回D級(16チーム)	次回C級(優勝8チーム+準優勝4チーム)	次回B級(優勝4チーム+準優勝2チーム)
	次回未定 ※次回の申込状況次第	次回D級(準優勝4チーム+3位8チーム)	次回C級 (準優勝2チーム+3位~5位12チーム)
		次回未定(40チーム) ※次回の申込状況次第	次回D級(6位~8位12チーム)

#### ■ D級・E級出場までのステップ

凡例 職域実行委員会 出場チーム



## 4. 昇級・降級の決め方/D級出場の優先順位

昇級・降級は従来通り大会成績によって決定するが、昇級・降級のチーム数増に伴う変更がある。また、D級の「申込状況次第」の優先順位を明確にする。

### 昇級・降級の決め方

- 大会成績で決定するのは従来通り
- 順位の決め方は以下の通り
  - ✓ 優勝:リーグ戦1位同士で決勝を行い勝利したチーム
  - ✓ 準優勝:上記決勝で敗北したチーム
  - ✓ 3位:リーグ戦2位同士で決定戦を行い勝利したチーム
  - ✓ 4位:上記決定戦で敗北したチーム
  - ✓ 5位～8位:リーグ戦3位・4位チームのたすき掛けで順位決定戦を行い最終成績で決定
- 昇級・降級の決め方
  - ✓ 昇級:各ブロック優勝チーム、及び準優勝チームの内総合成績がより好成績のチーム
  - ✓ 降級:各ブロック6位～8位のチーム

### D級出場の優先順位

- 前回大会結果で出場が確定するチームが最優先
  - ✓ C級からの降級チーム(12チーム)
  - ✓ D級残留チーム(12チーム)
  - ✓ E級からの昇級チーム(16チーム)
- 申込時点の状況でD級出場が決まる優先順位(24チーム)  
前提:1チーム目の申し込みであること
  1. D級開催日程で出場可能
  2. 登録メンバーの主将から五将までの合計段位が高い
  3. 全日程で出場可能 ※日程を分ける場合
  4. 高段位の人数が多い (例) 43332 > 33333
  5. 登録人数

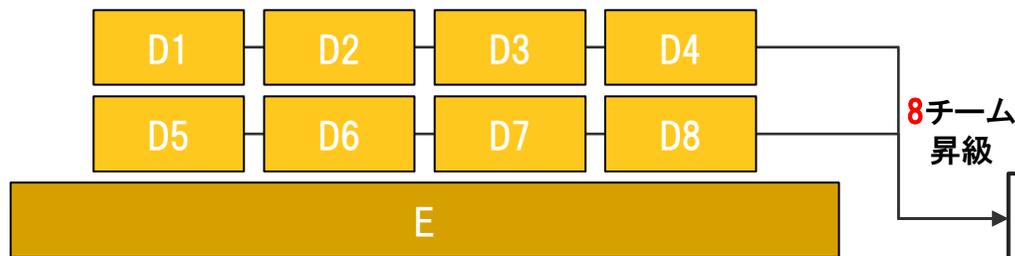
※2チーム目以降の申し込みを阻むものではないが、1チーム目のチームを優先して出場可能とする

※上記でも決まらない場合は運営による抽選を行う

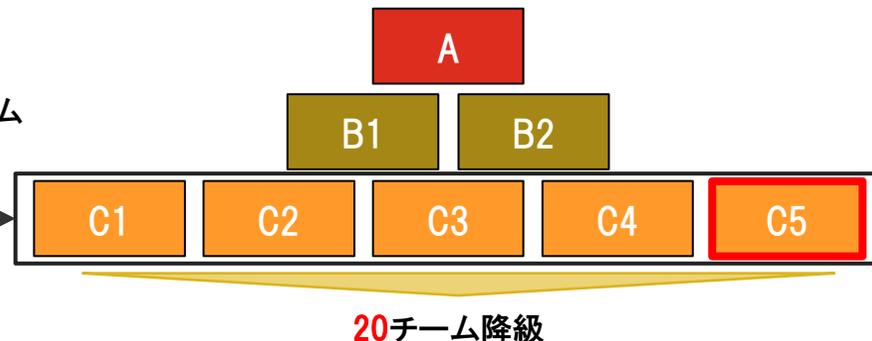
## 5. 第107回大会における移行措置

前頁で説明した方式への移行に際し、第106回大会でA～C級が開催されていないことにより一部移行措置をとる。

### ■第107回D級・E級(2022年8月)



### ■第107回A級・B級・C級(2023年3月予定)



- D級出場チームは前回の大会結果を考慮せずに決定
  - ✓ 第106回でC級昇級を決めたチーム以外は、全て等しく規定の優先順位に基づいてD級・E級に振り分ける
  - ✓ 前回開催が3年前でありメンバー構成が大きく変わっていることが予想されるためである

- D級からC級への昇級チーム数の制約発生
  - ✓ 第106回のC級が開催されていないため昇級枠が存在しない状態であるが、今回大会の結果が反映されないとすると開催意義が無くなってしまう
  - ✓ そのため、2023年春のC級に臨時でC5級を設置することで8チーム分の昇級枠を確保する
  - ✓ これに伴いD級残留チームは、昇級ができなかったチームの中から12チームを選定する

- C5級の設置
  - ✓ D級からの昇級枠として今大会のみ臨時で設置する
  - ✓ C5級の設置に伴い、第106回で決定したC級各ブロックのチーム編成を見直し再編成する
  - ✓ 第108回からは元の通りC級は4ブロックとする
  - ✓ C級のブロック数を戻すことに伴い、元々予定していた12チームに加え、1ブロック分8チームの合計20チーム(各ブロック5位～8位)を降級対象とする
- 2023年夏のD級
  - ✓ 上記移行措置により2023年夏のD級は20チーム分がC級からの降級枠となる